

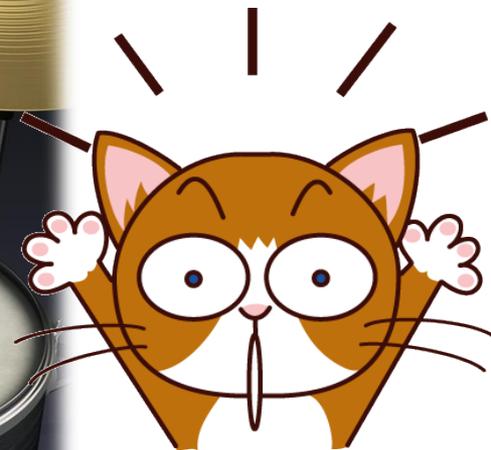
Garage Band基礎講座



Garage Bandで何ができるの？



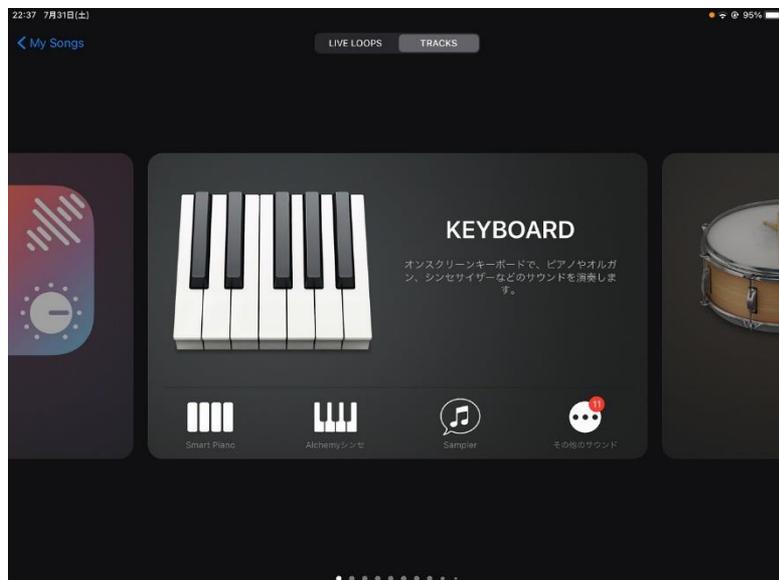
楽器を学んだり、実際に演奏したり
編集したり…たくさんことができます！



Garage Bandのはじめ方



① iPad 2 ページ目にある「Garage Band」を起動します。
左図のような画面が表示されたら、右上の「+」をタップします。



② Garage Bandの基本画面が表示されます。
この画面で、楽器等を選ぶことになります。

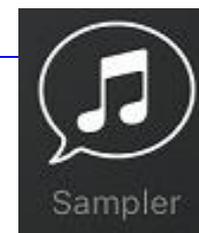
声で遊ぼう～Sampler①～

Garage Bandを使えば、自分の声も楽器にすることができます。

簡単で楽しいので、Garage Bandの導入に使ってみるといいですよ！



①KEYBOARDの画面で、「Sampler」をタップします。



声で遊ぼう～Sampler②～



◇録音された声
・波形として表示されます。

◇スライダー
・左右のバーを移動させると必要な部分だけを残すことができます。

◇録音ボタン
・ボタンを押すと録音が始まります

声で遊ぼう～Sampler③～

(1) 色々な言葉を録音・再生しよう！



鍵盤をタップすると録音した言葉が再生されます。その音程で再生されるので高い音や低い音で、再生してみましよう。

【こんな音遊び♪】

- 言葉を高音で再生 = 「なんと云ってる？ゲーム」
- 同じ言葉を録音 = 「ハモらせゲーム」



声で遊ぼう～Sampler④～

(2) 逆再生してみよう！



録音した後、「逆再生」をタップすると、録音した言葉が逆再生されます。

【ヒント】
言葉 = KOTOBA

【こんな音遊び♪】

- ・ 逆再生させたら、どんな風に聞こえるでしょう？
- ・ 逆再生で正しく聞こえるには、どう言えばいいでしょう？



声で遊ぼう～ボイス①～

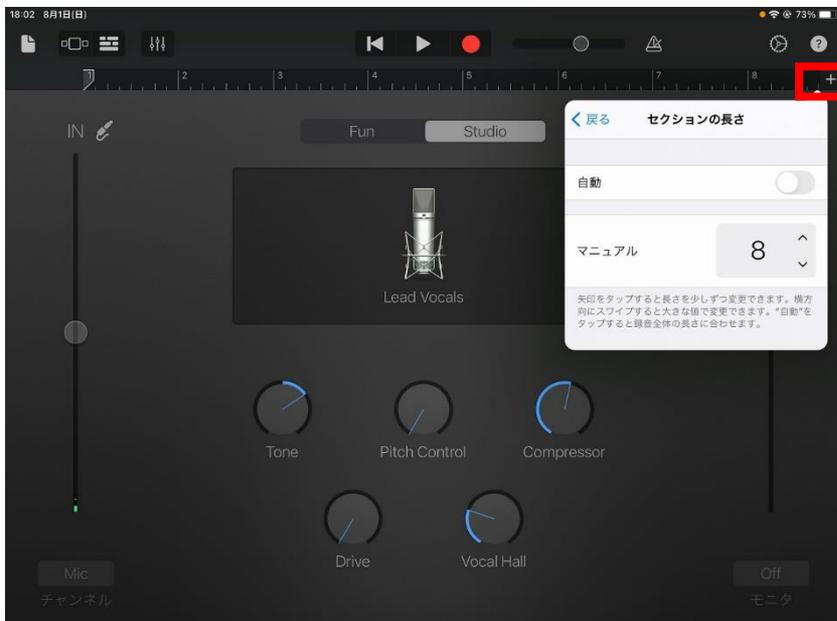
Garage Bandには、Sampler以外にも、声を楽器のように扱える「ボイス」というものがあります。こちらも使ってみましょう。



①AUDIO RECORDERの画面で
「ボイス」をタップ
します。



声で遊ぼう～ボイス②～

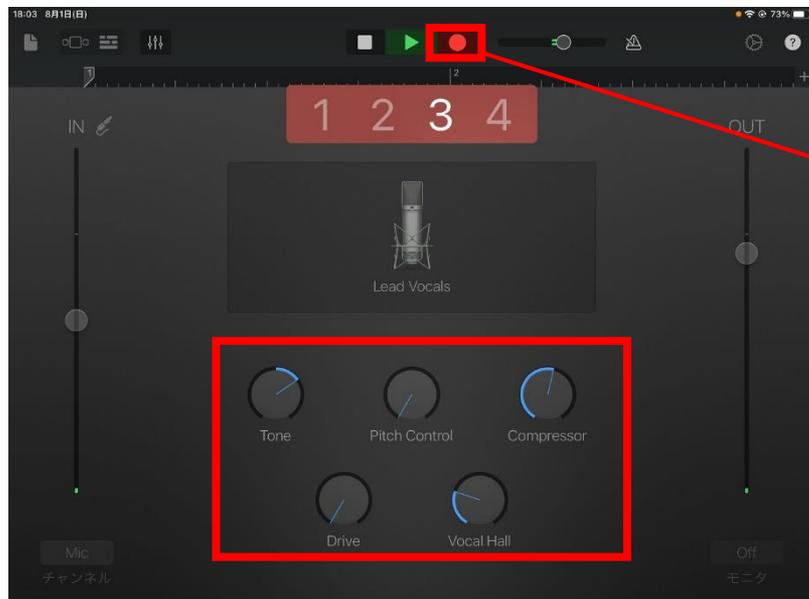
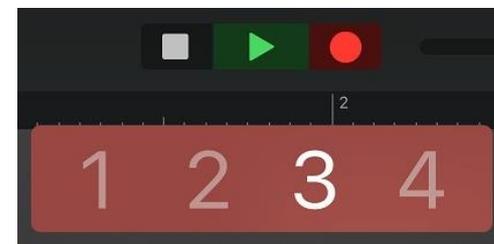


②ボイスの録音画面です。
まずは、右上の「+」を
タップして、セクションの長
さを短くしてみましよう。
※この操作は、よく使うので
覚えておきましょう。



③声を録音しますので、
今回は、セクション
の長さを8から2に
変更します。

声で遊ぼう～ボイス③～



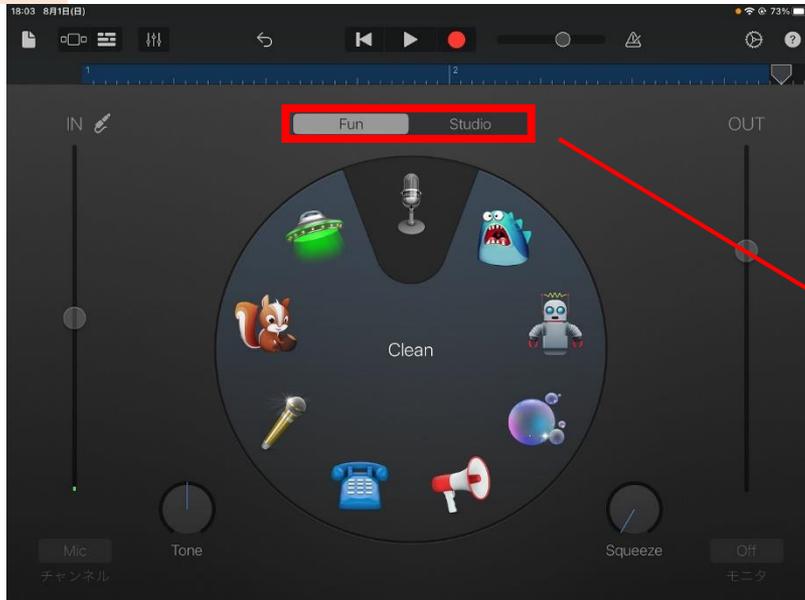
④いよいよ声を録音します。
画面上部の●をタップすると
カウントダウンが始まります。

| | |
|---------------|---|
| Tone | 音の明暗を調節。 ノブを上げるほどハッキリとした音になります。 |
| Pitch Control | ズレた音程を補正。音程差が激しいと「ケロケロ」というカエルの鳴き声のような効果も。 |
| Compressor | 音量の大小差を圧縮して音に輪郭を与える。 |
| Drive | 音のパワーを上げる。 ノブを上げれば上げるほど歪んだ効果が得られる |
| Vocal Hall | お風呂で歌った時のような残響効果を与える |

声で遊ぼう～ボイス④～

Fun

Studio



⑤ 声の録音が終わったら、画面上の「Studio」を「Fun」に変更しましょう。キャラクターを選んだ後再生ボタンを押すと声が変わっています。

18:03 8月1日(日)



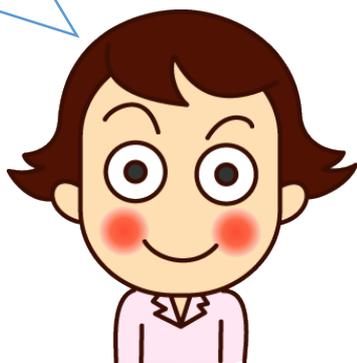
⑥ 画面左上のをタップすると下図のように、波形を見ることができます。



和楽器について

小学校学習指導要領

今回の改訂の基本的な考え方として、我が国や郷土の音楽に親しみ、よさを一層味わうことができるよう、**和楽器を含む我が国や郷土の音楽の学習の充実を図ることが挙げられています。**



- (5) 各学年の「A表現」の(2)の楽器については、次のとおり取り扱うこと。
- ア 各学年で取り上げる打楽器は、木琴、鉄琴、和楽器、諸外国に伝わる様々な楽器を含めて、演奏の効果、児童や学校の実態を考慮して選択すること。
 - イ 第1学年及び第2学年で取り上げる旋律楽器は、オルガン、鍵盤ハーモニカなどの中から児童や学校の実態を考慮して選択すること。
 - ウ 第3学年及び第4学年で取り上げる旋律楽器は、既習の楽器を含めて、リコーダーや鍵盤楽器、和楽器などの中から児童や学校の実態を考慮して選択すること。
 - エ 第5学年及び第6学年で取り上げる旋律楽器は、既習の楽器を含めて、電子楽器、和楽器、諸外国に伝わる楽器などの中から児童や学校の実態を考慮して選択すること。

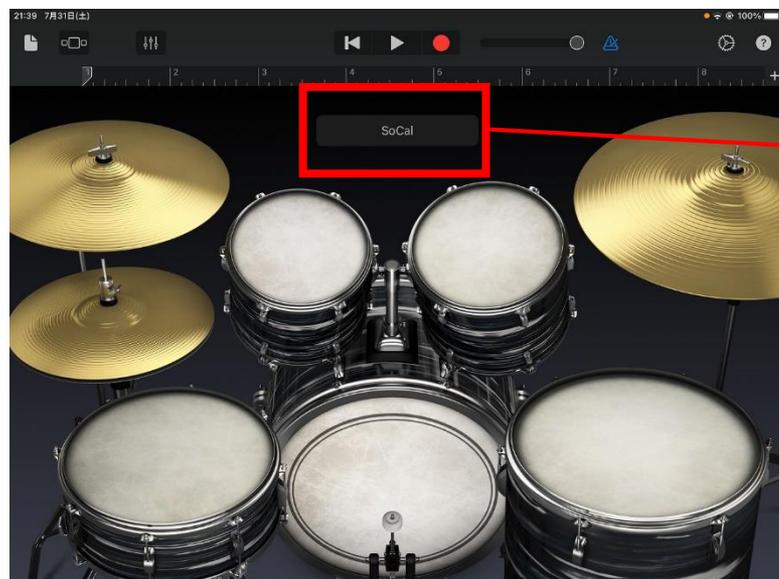
中学校学習指導要領

- イ 生徒や学校、地域の実態などを考慮した上で、指導上の必要に応じて和楽器、弦楽器、管楽器、打楽器、鍵盤楽器、電子楽器及び世界の諸民族の楽器を適宜用いること。なお、3学年間を通じて1種類以上の和楽器を取り扱い、その表現活動を通して、生徒が我が国や郷土の伝統音楽のよさを味わい、愛着をもつことができるよう工夫すること。

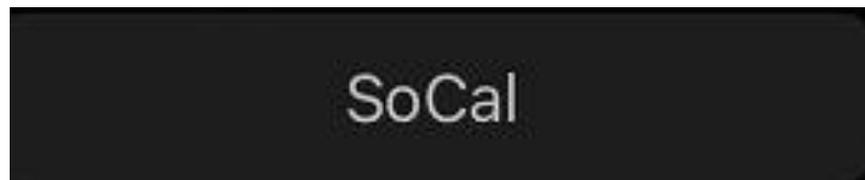
和楽器を使ってみよう～和太鼓①～



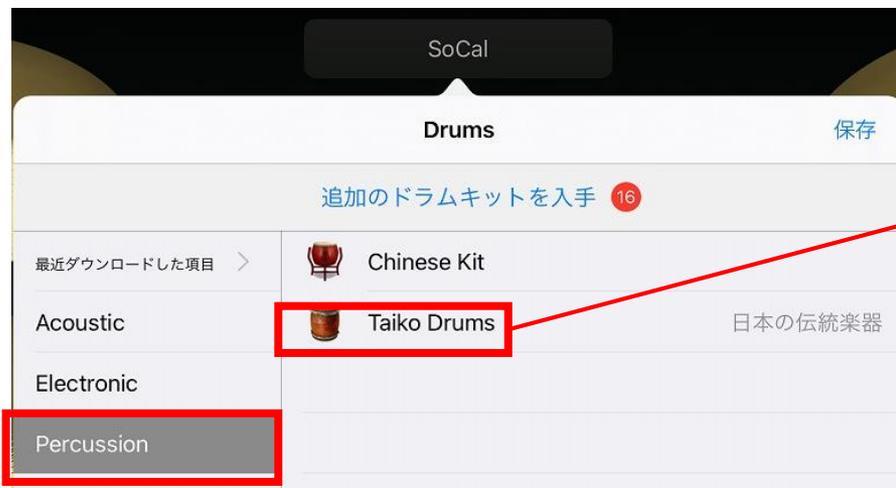
① 「DRUMS」の中からアコースティックを選びます。



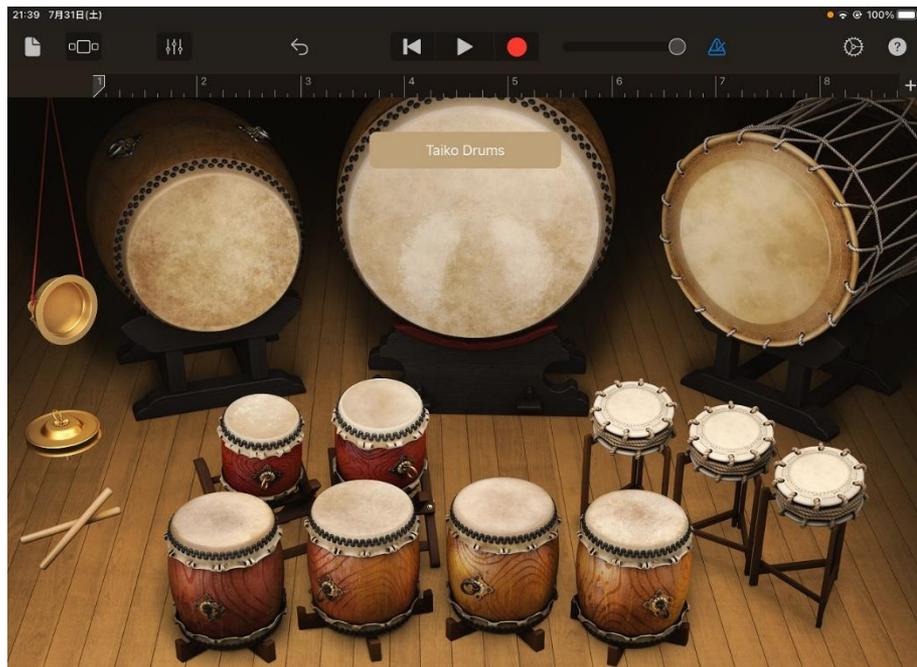
② ドラムが表示されるので画面中央の「SoCal」というボタンをタップします。



和楽器を使ってみよう～和太鼓②～



③ドラムキットの選択画面が表示されるので、
「Percussion」
→「Taiko Drums」を選択します。



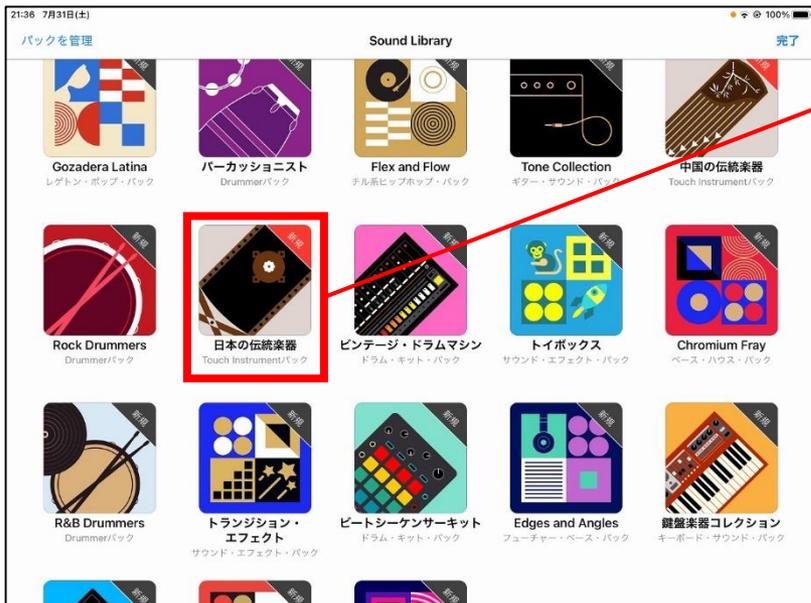
④和太鼓が表示されました。
実際に叩いてみましょう。

和楽器を使ってみよう～箏①～



① 「WORLD」の中から「その他のサウンド」を選択します。

② 様々な楽器が表示されるのでその中から「日本の伝統楽器」を選択します。



和楽器を使ってみよう～箏②～

③ 「入手」をタップします。

入手

プレビュー ▶

④ 「完了」をタップします。

完了

⑤ 箏の画面が表示されます。
触って、音を鳴らしてみましよう。



きらきらぼしをアレンジしよう！

Garage Bandの醍醐味のひとつである曲のアレンジをしてみましょう。

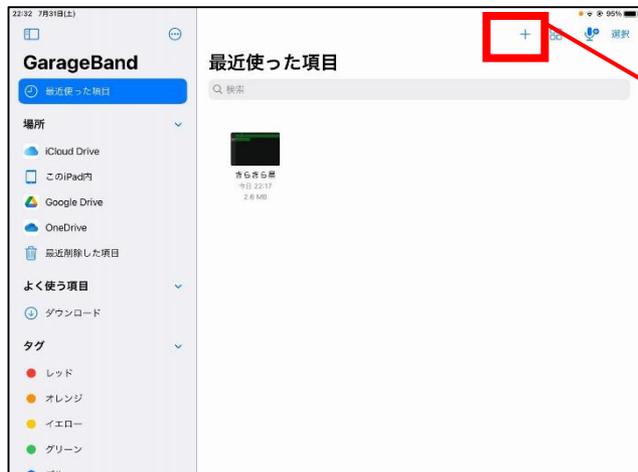
同じ「きらきらぼし」が、どのようにアレンジされるのか…。

最後は発表会を行います！



ピアノで演奏した「きらきらぼし」に、様々な楽器の音を加えていきましょう。

「きらきらぼし」を録音する準備①



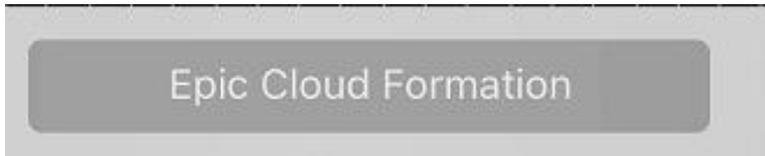
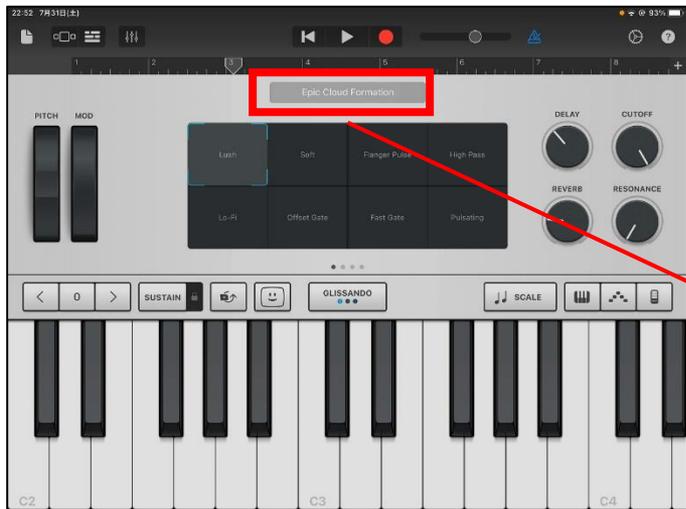
①Garage Bandを起動し
右上の「+」をタップ
します。



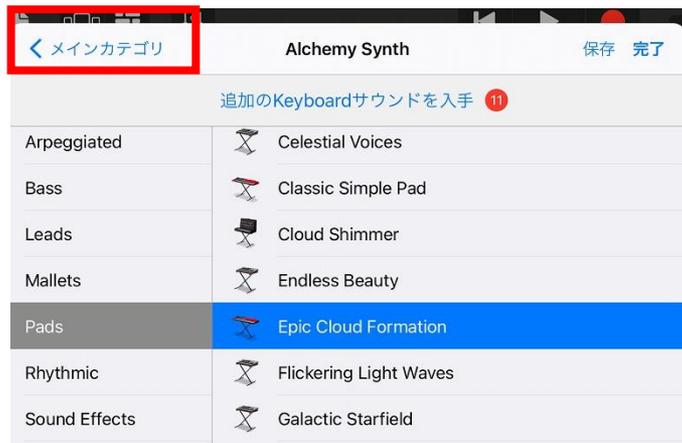
②KEYBOARDの中から
「Alchemyシンセ」を
タップします。



「きらきらぼし」を録音する準備②



③ Grand Pianoで演奏したいので、画面中央上部の「Epic Cloud Formation」をタップします。

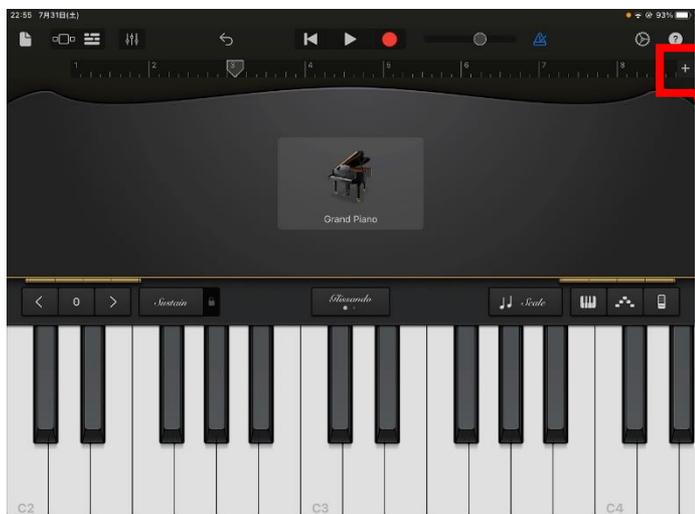


④ 「メインカテゴリ」をタップ。



⑤ 「Keyboards」を選び、その中にある「Grand Piano」をタップします

「きらきらぼし」を録音する準備③



⑥ Grand Pianoの画面が表示されました。
このピアノで演奏します。

⑦ 「きらきらぼし」にあった小節数に変更したいので画面右上の「+」をタップ



⑧ 「8小節」になっているところをタップします。



⑨ 「8」を「12」に変更しましょう。

「きらきらぼし」を録音する準備④



【演奏、得意？】

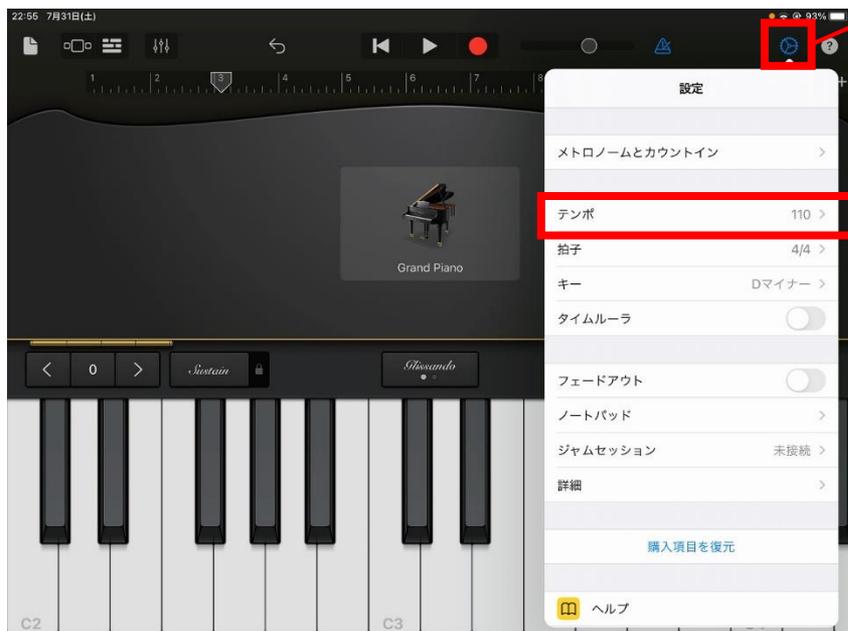
このあと、「きらきらぼし」を演奏→録音しますが、苦手な人は、テンポを遅くして録音することをおすすめします！

⑩



(設定) をタップします。

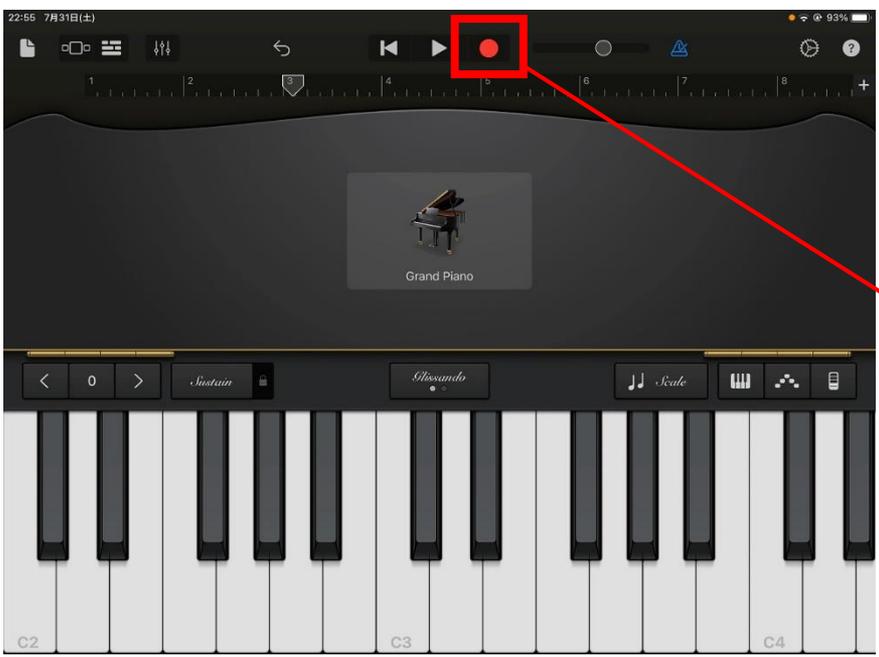
⑪ 「テンポ」をタップ
します。



「きらきらぼし」を録音する準備⑤



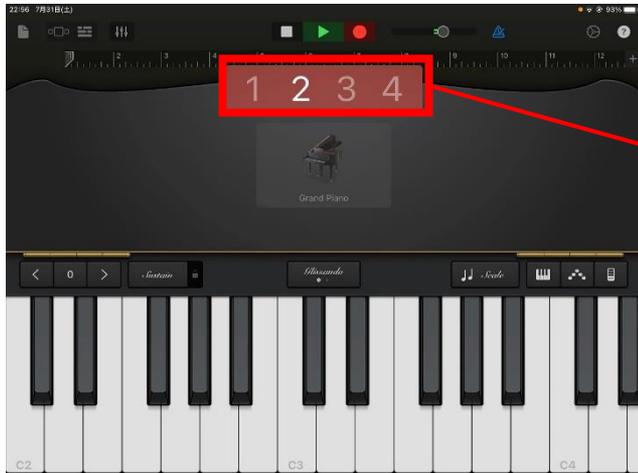
⑫ここで、自由にテンポを変えることができます。私は70にしました。



⑬録音の準備ができました。

画面上部の●をタップすると録音が始まります。

「きらきらぼし」を録音する①



① ●を押すと、カウントダウンが始まります。
タイミングよく、演奏をはじめましょう。

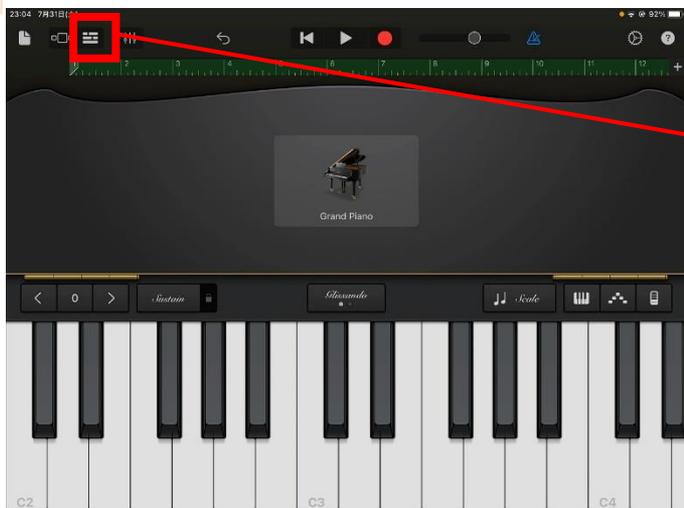


②演奏を始めると
上部のバーが赤く塗られていきます。

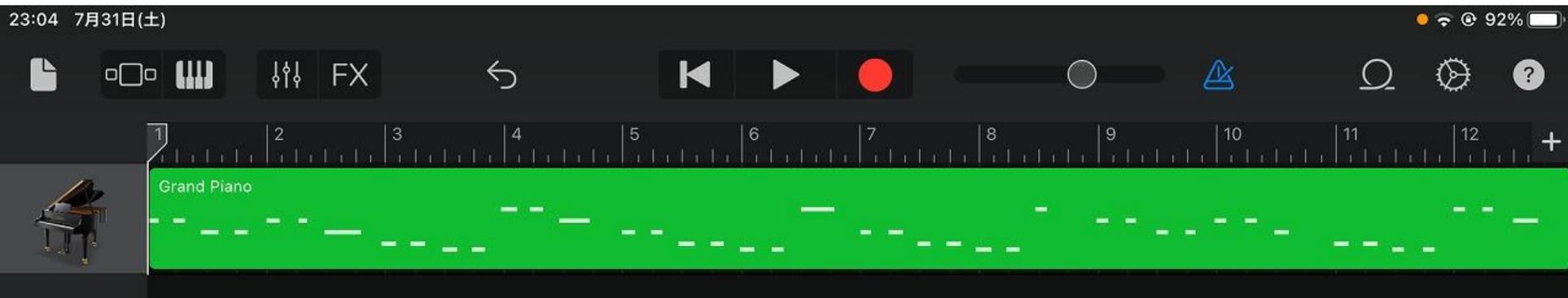


③ 1 2小節まで引き終わったら
■を押して、演奏をとめます

録音したものを確認する



①画面右上の  をタップして録音されたデータを確認します



②上図のようになっていれば、録音成功です！

録音したものを編集する①

【失敗しても、大丈夫！】



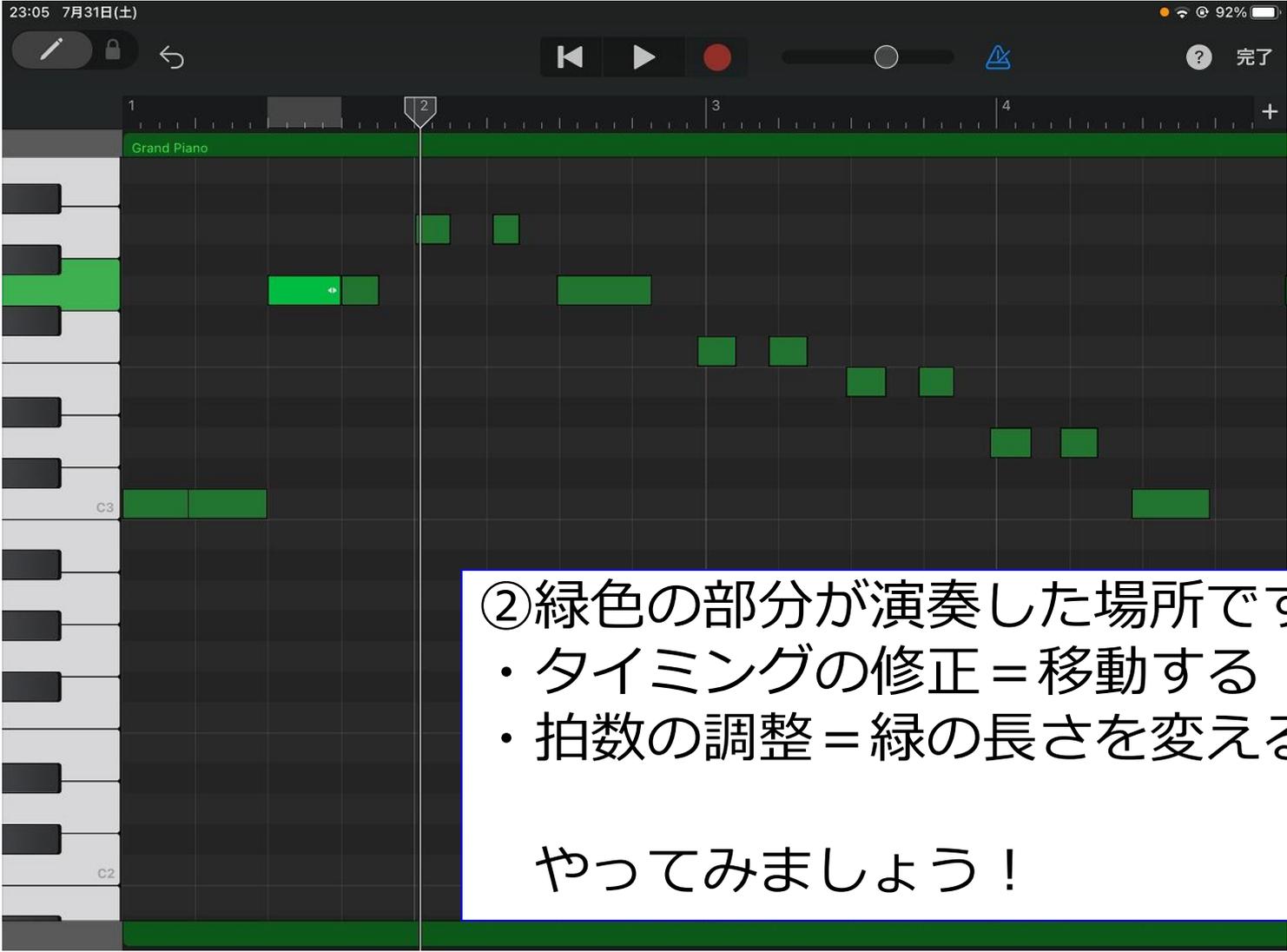
「タイミングがずれた!」、「拍数間違えた!」など失敗した場合も、あとから編集できるのが Garage Bandのすごいところです! やっていきましょう。

①録音された部分（緑のところ）をダブルタップするとメニューが表示されますので、「編集」を押します

カット コピー 削除 ループ 分割 **編集** 名前を変更 設定

← **カット** **コピー** **削除** **ループ** **分割** **編集** **名前を変更** **設定**

録音したものを編集する①



23:05 7月31日(土) 92%

完了

Grand Piano

②緑色の部分が演奏した場所です。

- ・ タイミングの修正 = 移動する
- ・ 拍数の調整 = 緑の長さを変える

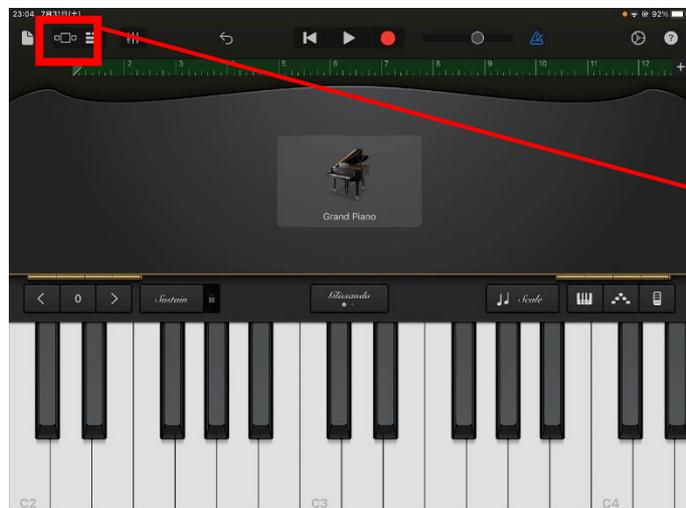
やってみましょう！

アレンジ開始！

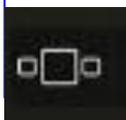


きらきらぼしの演奏が録音できました！
でも、ピアノだけではもったいない！
いろいろな楽器の音色を加えて、オリジナルの「きらきらぼし」を創りましょう！

ドラムの音を加える①



①楽器をピアノから変更したいので、画面左上のをタップします。



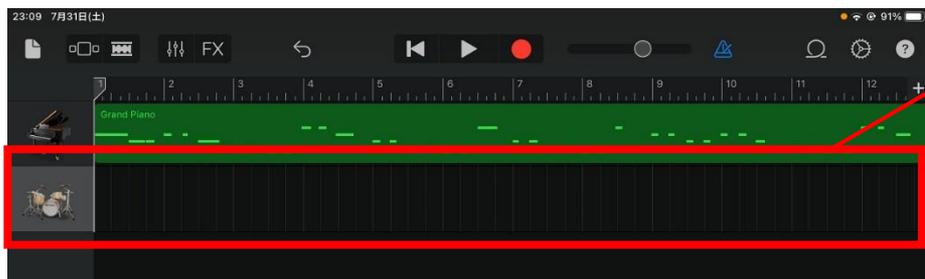
②DRUMSの中から、アコースティックを選びます



ドラムの音を加える②



③画面左上の  を
タップします。



④ピアノの下に、空白の
ドラム欄が表示されています。



⑤空白の上でタップをして
表示されたメニューから
「編集」を選びます。

ドラムの音を加える③

⑥画面の左側に、ドラムの各パーツが表示されます。

⑦画面左上のエンピツマークを赤くした後、任意の場所をタップすると、ドラムの音が挿入されます。

【12小節分、つくるの?】

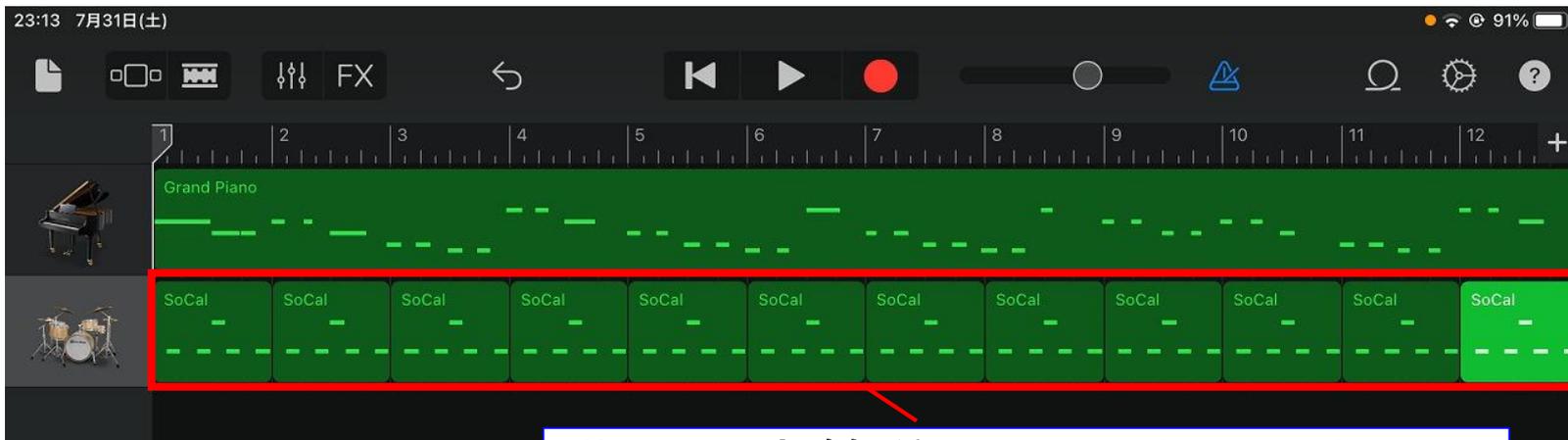


・12小節、すべて設定してもよいですが、1小節だけ作って、それをコピーする方法もあります。

ドラムの音を加える④



⑧ 1小節分つくったら、それをコピーして貼り付けてみましょう。



⑫ 1 2小節分、できましたか？
自分で聞いてみてくださいね。

あなたなりのアレンジを！

Garage Bandには、他にもたくさんの楽器が用意されています。ドラムと同じ手順を踏めば、他の楽器の音色も加えることが可能です。

楽器・テンポ…などなど、色々と操作して、自分なりの「きらきらぼし」をつくってみましょう。

発表会をしますよ！

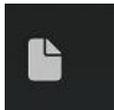


1 曲完成した後に…

【2曲目は、DRUMMERに】

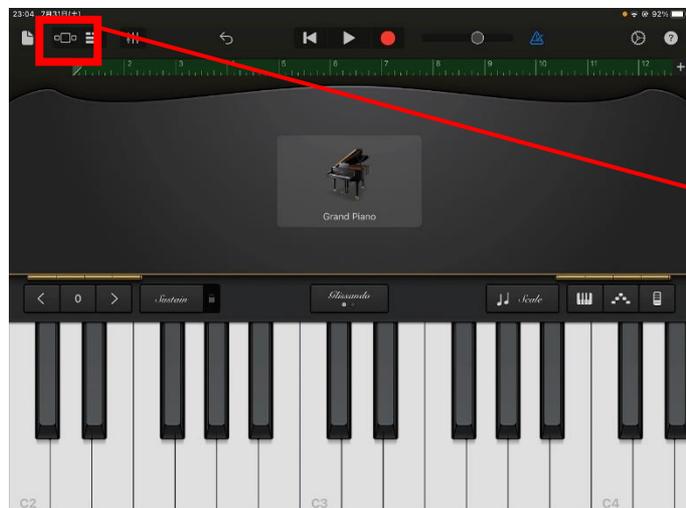


まずは、自分でドラムや他の楽器を加えた「きらきらぼし」を作ります。

完成したら、画面左上の  マークをタップして保存をしておきましょう。

そのあと、もう一度、新しく「きらきらぼし」を作って、今度は、「DRUMMER」という機能を使ってみます。

DRUMMERの音を加える①



①P18～P29の手順を踏んで、もう一度、「きらきらぼし」を録音します。録音ができたら、左上の  をタップします。



②DRUMSの中から、アコースティックを選びます



DRUMMERの音を加える②



③それぞれの項目を変えて
いっただけで、カッコいい
演奏ができます。

DRUMMERの音を加える③



④なんと、ドラマーを
変更することも可能！
自分に一番あった人
を選びましょう！